

豊剣会だより

(表題字・中9 榎原 武雄氏)

発行；豊剣会事務局
〒560-0011
豊中市上野西2-5-12
大阪府立豊中高等学校
TEL06-6854-1207

会長挨拶

豊剣会会長（中学14期）
西村 淳一

会員皆様には益々ご健勝にて、それぞれの分野でご活躍のこととお慶び申し上げます。また平素、豊剣会の運営に関し格別のご支援を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

高校卒業期も50期を過ぎて、新しい会員も年々増加し、豊剣会も一大剣道部同窓会に成長いたしましたことは、ご同慶の至りに存じます。

しかし一方、大先輩達のご訃報も多くなって参り新旧交代の世運を嫌でも感じなければならなくなっております。平成10年は、7月末に灘上順之助氏（中学10期）、9月には佐藤功氏（中学22期）のお二方のご逝去の悲運がありました。灘上先輩は豊剣会設立以来の文字どおりの功労者であり、佐藤先輩は未だ70歳で在校生を相手に稽古をされる歳なのにと、惜しまれてなりません。豊剣会から供花を行い、有志の人々でお送りしたことをご報告申し上げ、在りし日の両先輩を偲び心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、豊剣会も従来通りの運営が出来難くなって参りました。その理由は、豊陵会（豊中高校全体の同窓会）総会の日と同時に実施していた豊剣会総会への参加者が激減したためです。つまり、在校生がテスト前のため、その朝の交換稽古への参加者が激減し、またその後の豊剣会総会自体への参加者も5～6人となってしまったのであります。やむをえず3月の春休みを利用して実施される、大学生等若い方々を中心としたOB大会の後、懇親会の席上で総会を開く形に切り替えざるを得なくなり、本年度で第5回目を実施する運びとなりました。この方は若い人々の参加を見て、やっと定着した模様であります。しかし、これも学校の行事に支障のない日を選ばなければならず、幸い現役の高田先生（高校20期、社会科教諭）のお骨折りと、数少ない若いOBのご支援とにより、何とか実施し続けている現状です。在校生の夏の合宿についても、豊田先輩（中学21期）・大芝先輩（高校16期）に全面ご指導を願っている次第であります。いずれにしろ、一部の先輩の献身的努力に頼っているのが現状で、これでは駄目だと思いつつ今日に及んでおります。

どうぞ若い世代のお力によって、この苦しい豊剣会に新風を吹き込んでもらい、往年の輝かしい豊剣会に復活する日を期待して、ご挨拶といたします。

灘上順之助君を悼む

中学10期 温品 正雄

豊剣会の世話役 中学10期生の灘上順之助君が、平成10年7月31日に亡くなり、8月1日通夜・8月2日葬儀で豊中市二葉町の新福寺で剣道部の級友達が見送りました。彼は神崎川ゴルフ場近くに住み（洲到上渡し場跡の碑あり）阪急三国駅まで歩き通学していました。私も三国駅から通ったのですが、顔を合わせたことは殆どありませんでした。

昭和7年1月寒稽古の納会試合で何人かを抜き、林眞英校長は、彼は立派な少年剣士だとほめられたのを覚えています。

彼と練習したことはなく、話はよくしたが、これは専ら彼が余りにも強いことによるものです。気一本の青年的客気を何時迄も、否死ぬるまで持ち続けた、心優しい人でした。中学3・4年の頃でしたが、約束の変更を知らせに十三駅より木川の私の家まで走って来てくれました。

言い出したら後へ退かない前身マンでした。よく一緒に飲んだものですが、酔えば必ず出るのが『祇園小唄』 だらりの帯よ……。

地域社会に尽力し、剣道会長・子供会会長・俳句会会長等、とにかく忙しい人でした。

光源氏のモデルの源融、或いはその4代目の孫 渡辺の綱の所在について、幾分なりとも明らかにしたいと『嵯峨源氏をたずねて』の本を上梓しました。全国に魚り、畦野の小童寺、京都の嵯峨釈迦堂が活動の本拠で、会合には全国から来られました。また俳句は中学1年からのもので、精彩を放っていました。

37キロまで痩せこけたが下の世話は自分でやり、奥さんにさせなかったとのことで、ポータブル便器で用を足し、始末しとけよと言って4時間後に亡くなったとのことです。「世話をかけないことでは世の老人の話とは全然違った、これも私をかばったのことでした」と涙ながらに奥さんは語られた。好漢今や亡し。我ら身辺とみに寂然たるものを覚ゆ。冥福を祈ります。

豊剣会事務局より

灘上順之助先輩の奥様から、先日豊剣会に1万円のご寄付を頂戴いたしました。灘上先輩のご冥福をお祈りすると共に、お礼申し上げます。

母校便り

剣道部顧問 (高校20期)
高田 裕文

平成10年度剣道部メンバーの紹介

<2年生>

藤澤俊吾 (部長)、天満慎太郎、前田博史、吉田賢一、梅島慎吾、谷沢和哉、福島徹夫、小澤葵、内部桃子、渡部志保、小野瀬智、依田美美、木曾潤子、

<1年生>

竹内嘉彦、新島剛、松尾尚文、金山知夏、斎藤香、山岡伶子、水川明子、城加容子 (マネージャー)、南明里 (マネージャー)、

平成10年度の活動報告

上記のように本年度の部員は、1年生の数が少ないことに問題があります。1年生単独では、5人制の団体戦で、補欠どころか先鋒から大将までさえ満たせません。次年度の新入生の勧誘をいかに行うかが課題と言えます。

本年度は、このような人員不足にもかかわらず、6月の全国総合剣道大会の大阪府予選と、11月の大阪高等学校剣道新人大会で、女子が、ブロック大会を勝ち抜き中央大会に進出しました。男子も8月の大阪総体で3回戦まで進出するなど、強豪が多い中でよく頑張ってくれました。

学校での練習は、授業のある学期中は、月～金は4時から、土曜日はなぎなた部と交代で前半 (1時～3時) または後半 (3時～5時) に行っております。

本年度の夏の合宿は、はじめて奈良県立橿原公苑の宿舎と隣接する道場を借りて、7月21日～24日の3泊4日で実施いたしました。今回も、中学21期の豊田俊一氏が全日程にわたりご指導下さり、また高校16期の大芝信雄氏が2日間にわたってご指導下さいました (豊田氏は折あるごとに道場を覗いて下さり、また大芝氏は本年はじめにも、横浜からはるばる稽古に参加して下さいました)。お二人とも、お忙しい仕事の合間をぬって、部員のために熱心に稽古をつけて下さり、顧問としては、すばらしいOBを持つありがたさをこれほど実感することはありませんでした。また、豊剣会からは例年通り、援助を頂戴いたしました。あわせてこの場をお借りし、お礼申し上げます。

また、若いOBの諸君もしばしば道場へやってきて、現役生にアドバイスをしてくれております。今後も、OBの方々が気軽に母校をたずね、柔剣道場を覗いていただければ幸いです。

平成10年3月29日に、本校で豊剣杯争奪大会および総会・懇親会が行われました。大会は道場で午後1時から比較的若い世代が腕を競いあい、その後会議室で総会と懇親会が行われ、老いも若きも和やかなうちに交流しあうことができました。

第5回豊剣杯争奪大会のお知らせ

来る3月28日 (日) 標記の大会および総会・懇親会を行います。当日の日程等は以下の要領です。皆様お誘いの上ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

*12時より 受付開始 (体育館の1階入口にて)、直ちに試合の組み合わせを行いますので、試合参加者は早めにおいで下さい。

13時より 試合開始。

15時30分 会議室で豊剣会総会および懇親会開始。

17時頃 お開き。

*会費 学生は2000円、社会人は3000円。

*高校30期までの参加希望の方は高校20期高田裕文 (TELは豊中高校へ) まで、高校31期以降の参加希望の方は高校50期加藤信幸君 (TEL 0727-61-5180) まで、ご連絡下さい。

*後半の総会・懇親会のみ参加の方は、15時頃おいでいただいてもけっこうです。

会計からのお願い

会計 (高校18期)
松村 栄太郎

豊剣会の会計はここ数年逼迫の一途をたどっております。豊剣会の今後の運営には、毎年一定の経費を必要としております。

つきましては、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご協力頂ける場合は、同封の振込用紙によって、会費・協賛金を振り込んで下さい。

灘上氏作詞の歌

以下は温品氏が追悼文と共に送ってこられたものですが、スペースの都合で一部のみご紹介いたします。

- 昭和五十八年四月十七日発表
- 嵯峨源氏顕彰会の歌
- 作詞 灘上順之助
作曲 小谷多賀雄
- 一、嵯峨皇御所の空晴れて
龍頭鶴首 池の月
世は平安の宴して
万代の幸祝ぎにけり
- 二、六条河原 枳穀邸
源融 光る君
- 三、嵯峨釈迦堂の墓前尚ほ
松籟 楽を奏づらん
落雁真野の片辺り
湖西堅田の奥深く
鎮もる宮居南庄の
融神社を君知るや